



広島大学クロマチン動態数理研究拠点、
市民講演会

数理と生命科学

数学と生物学の狭間で展開される、ちょっと変わった研究を
広島大学の2人の教授が紹介いたします。

西森 拓

数理科学と生命科学の融合

—アリの社会分業の仕組みを実験と数理モデルで解明する—



山口 高亮

粘菌からロボットへ

単細胞が教えてくれること



16:40

2017年3月12日(日)

14:00~